

# 第 199 号

発行日：2016年4月1日  
 発行人：神 立 秀 明  
 〒950-2172 新潟市西区内野上新町11810番地3  
 TEL 代表 (025)264-5000  
 FAX (025)261-4430  
 在宅ケアセンターゆうばえ内



# 夕映えの会

## 住民の声

地域でささえあう

### 子どもたちを育て

### 音楽のあふれる

### 町づくり



上原団地  
自治会長  
納谷 伸 司

上原団地は186世帯、14班で構成されています。私自身はここに移り住んで30余年、縁あって自治会長を仰せつかってこの春で丸6年となります。

先輩の皆さんからはご指導をいただき、後輩の皆さんからは協力をいただきながら自治会長の任を務めさせていただいています。

上原団地では以前から「シルバーの会」というものがあります。文字通りのシルバー世代の皆さんが月に一回、第二木曜日に三々五々集まられます。今で云う地域のお茶の間ですが、参加者の一人がテーマを決めてお話をします。そのお話にもとづいて参加者が交流するという、大変ユ

ニークなお茶の間です。茶菓は自治会負担でこれからも長年にわたり続いていってほしいと思っています。

災害時の要援護者への対策は大変重要です。これから、地元の民生委員さんとすり合わせを進めていかなければと考えているところです。

「地域で支え合う」というと、高齢者に対してということになりそうですが、上原団地では「団地の子どもたちを育てるために思いっきり遊ばせよう」という発想で自治会行事を企画してきました。「子どもは地域の宝 国の宝 世界の宝」先輩から聞いたこの言葉を私自身、座右の銘としています。

1月には餅つき大会、7月には地引綱引大会、そして8月の第3日曜日に上原団地祭りと呼んで、手作りお神輿を子どもたちが町内を引きまわします。金魚すくい、わたあめなど子どもたちの喜ぶ出店も用意します。子どもたちのための行事ですが、親御さんも集まり、各世代が交流できます。私たちはこういう支え合いの町づくりをすすめてきました。

さて子どもが良く育つ環境を作ることは、私たち大人の責任です。私は平成22年、西内野コミュニティ協議会に仮称「西内野吹奏楽団」設立の企画書を提出させていただきました。

設立趣意書には小・中・高のブラバンドや個々の音楽活動が盛んな

地域の特性を考慮して、地域に根差した音楽発信をすべきと提言させていただきました。曰く、①音楽は子どもたちを活発にします。(ちびっ子たちは踊り出します)②音楽は年配者を元気にします。③音楽の盛んな地域は非行や犯罪が極端に少ないというデータがあります。④音楽の盛んな地域に入ると空気にすぐ音楽を感じると思います。

コミ協のご厚意と賛同をいただき同年、日本初のアマチュアによるコミ協楽団・西内野コミ協吹奏楽団が誕生しました。現在、団員は30名、高校生から70歳代の年齢構成となっています。第2・第4の日曜日の午後本拠地であるコミセンの小ホールが練習場ですが、同じパートの団員はそれぞれ別個にも練習をしているようです。いずれにしてもコミ協のご支援があつてこそ西内野コミ協吹奏楽団です。

団員の皆さんは現役の方が多く、お仕事の傍らの活動となりますが、そこは「好きこそものの…」ばかり、頑張っております。世代差は、音楽には特に支障はないと感じています。たまには人生の先輩の指導による「お悩み相談」などもあると聞いています。

この地域が今後も音楽があふれる町になれるよう念願して、私も精進の日々です。

# 第24回夕映えの会 総会 ご案内

とき 4月24日(日) 午後1時30分  
ところ 西コミセン和室



春爛漫の候、  
会員の皆さまい  
かがお過ごしで  
しょうか。

業が継続できるのか、多方面か  
らの心配も寄せられています。  
高齢者の暮らしをどう支えて  
いくのか、今回の総会の大きな  
テーマです。

昨年、介護保険制度が大きく  
変わりました。平成29年度、要  
支援者が介護保険制度から切り  
離されて、新潟市の新しい総合  
事業に移されようとしていま  
す。来年度は施行前の準備期間  
として、大変重要な一年となり  
ます。

また配食・生活支援事業を  
実施しているNPO法人新潟夕映  
えの会の総会も、同日予定して  
います。多くの会員の皆さまか  
らのご出席をお願いいたしま  
す。

新しい新潟市の総合事業  
で要支援者の介護の質をど  
う担保するのかが大変大き  
な問題です。「家庭介護」  
から「社会的介護」を謳っ  
た介護保険制度そのものが  
維持できるのか、夕映えの  
会は大変危惧しています。  
同時に、介護事業所の事

平成28年度  
NPO法人新潟夕映えの会総会  
とき 4月24日 午前10時  
ところ 西コミセン講座室  
議案

平成27年度事業活動経過と  
平成28年度事業活動方針

## 「健やガ・ニ・リ」してます！

### 第27回 民謡踊りでいきいき

板井ミツ (新中浜)



大正10年中央  
区本町で生れ昭  
和初期まで下町  
で過ごしました。  
当時の思い出は

信濃川の広がったことでしょう  
か。川幅は今の倍ほどもありま  
した。川を埋めて今の町ができ  
ていきました。

昭和24年、主人とともに佐渡  
にわたり竹細工の製造・卸を始  
めました。以来60年竹細工職人  
として暮らしました。

佐渡では孟宗竹はカキ養殖の  
筏などに使われ、竹細工には真  
竹を使います。竹細工では、材  
料の竹を一度煮て油抜きをしま  
す。それを用途に応じて幅と厚  
みを一定にしたヒゴを作ります。  
後年機械も使いましたが、当初

は全くの手仕事。おかげで私の  
指は関節が大きく、タコがあち  
こちにできました。内職を願  
いできる方に材料を届け、竹製  
の文庫や衣装入れを作り始めま  
した。でも

10年位は  
中々製品が  
売れず日々  
の暮らしも  
大変でし



た。ようやく結婚式の飾カゴ  
に需要が集まり、私たちの製品  
は東京・京都へ送られるよう  
になりました。こうして私たちは  
念願の作業場付の自宅を持つこ  
とができました。

子どもたちも手が離れた60歳  
の頃、働きづくめだった私は一  
念発起、習字と活花、そして日  
本舞踊を習い始めました。まさ  
に60の手習いです(笑)

習字では「光泉」の号をいた  
だき、活花では「准教授」の資  
格を取りました。でも習い事は  
とかくお金のかかるもの。免状  
をいただくには何万円と云われ  
ます。習字と活花は基本を身に  
つけることと割り切り、踊りを  
30年続けています。

昨年8月ひとり暮らしを心配  
する息子夫婦のすすめもあって  
新潟に帰ってきました。コミセ  
ンで踊りの教室があると聞き  
し、仲間に加えていただきまし  
た。練習の後、お仲間のお宅に  
お邪魔しておしゃべりはとて  
も楽しいです。今年6月に巻  
文化会館で、10月にはコミセン  
での発表会があり、今から楽し  
みです。私は今年96歳を迎えま  
す。

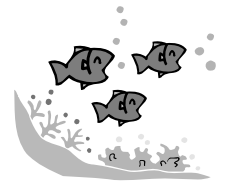
# 施設から発信コーナー

## マリンピア日本海（水族館） に行ってきました！

3月17日、久々の青空の元、  
ゆうばえの家一行  
（ご利用者・職員  
合わせて15名）は、  
にぎやかに「マリ  
ンピア日本海」に  
行ってきました。



きれいな魚や大きなあざらし  
を観て歓声を上げ、ご利用者、  
職員ともども童心に帰り楽しん  
できました。レストランでは、  
自分で選んだお料理をいただ  
き、本当にあつという間の一日  
でした。  
その日の夜は、  
いつになく皆さん  
ぐっすりとお休み  
とができたよう  
です（職員も…）。



### 投稿短歌

ちらほらと梅のほころぶこの朝<sup>あした</sup>  
テレビは告げるさくらの開花

二十一日 菫 栄様

梅の枝 惜しげなく切り  
沈丁花 そえてみごとに 早春生ける

菫 栄様

本間 スミ子様 より

勝った人  
負けた人とが  
共に居て  
日々の鍛錬  
讚え 喜ぶ

きさらぎが  
来れば  
つぼみが膨らんで  
光の春に  
心開きて

仏像に  
隠し拝する  
キリストの  
愛の広さに  
許しの深さ

何も無く  
いつものように  
淡々と  
出来る幸を  
感謝し 祈る

南 繁 栄様 より

芦岡さんの

ご飯ですま〜！

ゆうばえの里 管理栄養士  
芦岡 実可子

### 【春の根菜炒めサラダ】

食物繊維が豊富な野菜尽くし。切り方  
に注意し、茹でてから炒めて食べやすく。

〔材料〕（1人分）

- ・人参（薄切り） 30g
- ・たけのこ（薄切り） 20g
- ・ごぼう（斜め薄切り） 20g
- ・グリーンアスパラガス（斜め薄切り） 30g

※炒め用ソース

- ・サラダ油 小さじ1弱
- ・ごま油 小さじ1弱
- ・薄口醤油 小さじ1弱
- ・砂糖 小さじ¼
- ・酢 小さじ¼

〔作り方〕

- ① Aの野菜を熱湯で2分間ゆで、水分を切る。
- ② フライパンでBのサラダ油を熱し、①を炒め、火を止めてから残りのBの調味料を加えて混ぜる。
- ③ 味をととのえ、器に盛る。

2016  
**4**  
ミニイベントの  
お知らせ

■ 1日(金) お抹茶をいただく会  
矢崎 房子様他

■ 2日(土) 民謡  
「西馬音内盆踊り愛好会」  
川崎利栄子様他

■ 6日(水) 新舞踊・民謡  
「秋葉すみれ会」の皆様

■ 19日(火) レクダンス  
「和の会」の皆様

■ 20日(水) 紙芝居  
「朗読四季」の皆様

■ 23日(土) いっぺいこと歌おひね  
川崎和幸 様

■ **ところ**  
ケアセンター「ゆうばえ」  
デイサービスセンター

■ **とき**  
午後2時30分より  
\*お抹茶を頂く会は  
午後3時15分より

■ 22日(金) 「お茶の間」  
よもぎ団子作り  
参加費100円

■ **とき**  
午後2時より

■ **ところ**  
小規模多機能  
ゆうばえの家

地域の皆さんのご来所をお待ちしています。  
ご一緒に楽しみましょう。

### 職員募集

- ・ 介護職員  
(勤務時間は相談可。)
- ・ 看護師(日中のみ)
- ・ 主任介護支援専門員

お気軽にご一報ください。

(お問い合わせ)  
TEL 264-5000  
渡辺まで



### NPO夕映えの会の 生活支援活動配食サービス

をご利用下さい!!

#### □生活支援活動

- ・ どんなお手伝いでも1時間1,000円です。
- ・ 車を使ってのお手伝いのご相談もお受けいたします。
- \*介護保険は適用されません。

詳しくは090-1431-7996  
(小川)まで

#### □配食サービス

高齢者や障害をお持ちの方で  
・ 食材の買い物等が困難な方  
・ 食事作りが困難な方  
・ けが・病気等で一時的に食事作りが出来ない方  
など、1食600円でボランティアによる配達と安否確認を行っております。

詳しくは090-1654-9821  
(久住)まで

### ケアハウス「ゆうばえの里」 入居者募集中!

ケアハウス「ゆうばえの里」は、ご自宅で生活しているのと変わりなく自由に生活いただけますので、施設と呼ぶより”食事付高齢者マンション”とお考えください。

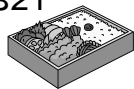
一人暮らしに不安を感じておられる方、介助が必要な方も安心!!施設には併設のヘルパーステーション、訪問看護等もあり、あなたの生活を支えています。

4月現在、2部屋の空があります。いきいきとした第二の人生を、ケアハウス「ゆうばえの里」で始めてみませんか?  
\*相談・見学随時受け付け中です。

### 連絡先一覧

夕映えの会  
お弁当配食については  
★配食事業部へ  
090-1654-9821

生活支援については  
★生活支援部へ  
090-1431-7996  
お気軽にご連絡ください。



生活支援、配食、運転  
ボランティア募集

社会福祉法人ゆうえい会  
在宅ケアセンターゆうばえ  
(代)025-264-5000

ゆうばえの里  
ケアハウス 025-264-5715  
ショートステイ 025-264-5730  
ゆうばえの家 025-264-0808

★介護のご相談はケアプランへ  
025-264-5701

### 編集後記

4月は別れと出会いが交錯する月。編集子も31年勤めた職場に別れを告げました。「もう少し延長を」という声も聞かれましたが職場も自身も変わらなければなりません。花々が咲き、木々の緑が芽吹くこの季節を、少しだけ味わいたいと思います。さて、「健やかシニア」に、板井ミツさんから登場していただきました。96歳を迎える中、踊りの教室に通いながら元氣にお過ごしです。若い頃の苦労など微塵も感じさせず、「長生きし過ぎましたね」と笑います。編集子も節制して、長生きしたくなりました。  
(M記)